



2012年9月 記載要領変更に伴う改訂

第3類  
医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



乾燥性皮膚用薬  
かゆみを伴う乾燥肌に

# パスタロン®SEローション

尿素10%配合

パスタロンSEローションは…

- 角質層の水分を保つ働きにすぐれた尿素を10%配合し、かゆみを伴う乾燥肌に効果をあらわします。
- かゆみ止め成分(ジフェンヒドラミンとクロタミトン)を配合し、乾燥肌を起こるかゆみを抑えます。
- 抗炎症成分(グリチルリチン酸二カリウム)が荒れたお肌の炎症を鎮め、ビタミンE(トコフェロール酢酸エステル)が血行を促進して、乾燥肌に効果をあらわします。
- ミルクタイプのローションで、のびがよく、さっぱりとした使用感です。背中や腰まわりなど広範囲にお使いいただけます。

## ⚠ 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)  
次の部位には使用しないでください

- (1)目の周囲、粘膜等。
- (2)傷口又は赤く腫れている患部。
- (3)ただれやひび割れのひどい患部。

### 🗨 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。



2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、刺激感(痛み、熱感、ぴりぴり感)、かさぶたのように皮膚がはがれる状態、はれ

3. 2週間位使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

## 【効 能】

かゆみを伴う乾燥性皮膚(老人・成人の乾皮症、小児の乾燥性皮膚)

## 【用法・用量】

1日数回、患部を清浄にした後、塗布し、よくすり込んでください。

## 使用方法



①容器上部のPRESSを押します。



②容器を適度に傾け本体を軽く押し薬液を手に取ります。



③終わりましたら容器上部を元に戻します。

★裏面につづく

## 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- (4)外用にのみ使用してください。

## 〔成分・分量と働き〕100g中

成分	分量	働き
尿素	10g	乾燥したお肌に不足している水分を保ち、肌荒れ、荒れ性などに効果をあらわします。
ジフェンヒドラミン	1g	乾燥性皮膚に伴うかゆみを抑えます。
クロタミトン	5g	
グリチルリチン酸 二カリウム	0.5g	乾燥性皮膚に伴う炎症を鎮めます。
トコフェロール酢酸 エステル	0.5g	血流を促進し、皮膚の新陳代謝を高めることにより、乾燥性皮膚に効果をあらわします。

添加物として、N-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルヘキサデカナミド、流動パラフィン、トリイソオクタン酸グリセリン、コレステロール、自己乳化型ステアリン酸グリセリン、ステアリン酸ソルピタン、ポリオキシエチレンセチルエーテル、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、水添大豆リン脂質、コハク酸、トリエタノールアミン、グリシン、グリセリン、パラベン、カルボキシビニルポリマー、キサンタンガムを含有します。

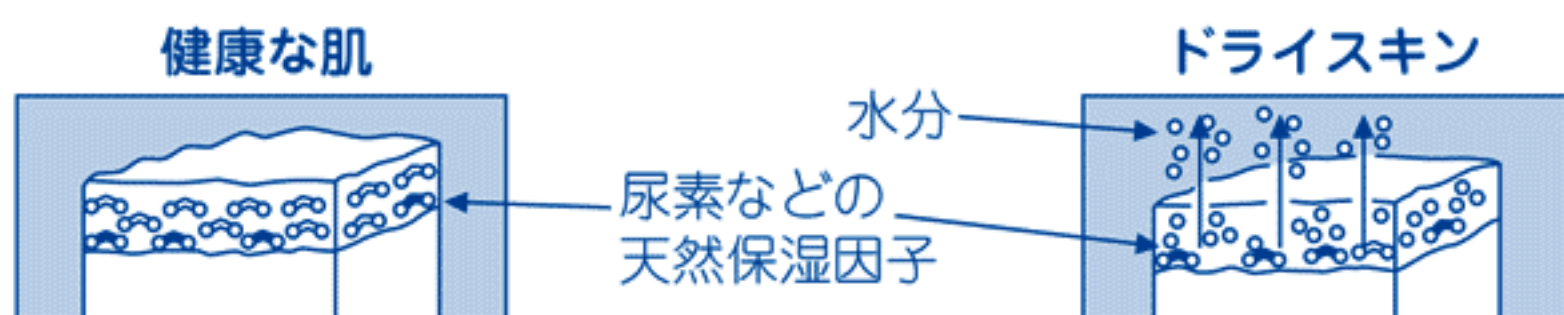
## ◎保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)使用期限をすぎた製品は、使用しないでください。



健康な肌の角質層に含まれる水分は約20%です。

角質層の水分が10%以下になると肌が乾燥して、カサカサの手や肌、カチカチのかかと、ザラザラのひじやひざなどドライスキンの状態になります。ドライスキンになると、外部からの刺激を受けやすくなり、かゆみや炎症を伴います。



尿素などの天然の保湿因子が角質層で水分を保持しています。

天然の保湿因子が少なくなり、角質層の水分が10%以下になっています。

ドライスキンには次のような原因が考えられます。

- 冬場の空気の乾燥だけでなく、冷暖房による室内の乾燥などにより、角質層は常に乾燥しやすい状態にあります。
- 日光の紫外線をあびると角質層の水分が少なくなります。
- シャワーや入浴、石けんの使用を頻繁に行い、そのままにしておくと肌を乾燥から守る皮脂膜がとりのぞかれてしまいます。
- 加齢とともに角質層が厚くなり水分が減少して、肌の柔軟性が低下してきます。

副作用被害救済制度のお問い合わせ先  
(独)医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。  
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口  
電話 03(5412)7393  
受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元  
佐藤製薬株式会社  
東京都港区元赤坂1丁目5番27号